



3層分類	関連する目標	2030年までの目標	具体的な取り組み	指標等
経済	12 つぎの目標 つぎの目標 生産・消費	再資源化を追求して、受け入れ資源のリサイクル率98%を 2030年までに達成します	●再資源化技術の追求で焼却・埋立処理廃棄物を削減する	資源リサイクル率98%
	10 人や国が公平 豊かになる 不平等	性別、障がいの有無に関係なく 平等に働ける職場環境を構築します	①社員へ多様性（ダイバーシティ）の教育実施	全社員へ教育実施
社会	5 ジェンダー ジェンダー	教育システムの整備を行い、すべての従業員の 技術的・職業的スキルの向上に取り組めます	②職場環境の改善、ロボット、自動化、選別技術の向上に取り組む	導入・運用
	4 教育 教育		①安全衛生、品質管理、環境管理の教育を推進し、有資格者を育成する	有資格者数
	3 保健 保健	環境教育による従業員のリサイクルに対する意識向上を図る	②新たな技術(DX、ロボット、VR等)の教育を推進し人材育成を図る	導入・運用
			③社内コンテスト開催	年1回 (2027年～)
	11 都市 都市	域内資源の循環利用「サーキュラーエコノミー」を促進する	●エコステーション社内分別の仕組、3R、地球温暖化、域内循環等の 環境教育を行う	年1回(2025年～) 2030年度までに 全従業員が1回は参加
環境	14 海洋資源 15 陸上資源	地域のニーズに対応できる処理システムを構築し、 受け入れ資源の拡大を推進します	●健康経営活動のPDCAを回し、社員の健康増進に努める	有所見率 5%改善
			●社内に福利厚生施設設置	
			●鉄資源の県外への流出を防ぐため、行政（11市）・沖縄県解体工事協会等へ 要請活動を実施する	域内循環率10%向上 (2024年度実績比)
			●新たな処理システムを構築し、処理困難物のリサイクルを促進する	処理スキーム確立